

地球観測将来構想小委員会 第2回会合

開催日時 令和元年10月7(月) 12:00~14:30

会場 東京大学 本郷キャンパス 理学部1号館 105番教室

出席者:高薮、早坂、中村、今村、小池、中島(孝)、重、沖、樋口、本多、中島(映)、岡本(幸)、中島(英)、横田、佐藤、岡本(創)、岩崎、高橋

テレコン参加:江淵、松本、村山(敬称略、以下同)

[議題]

1. 提言内容の提案と検討
2. 議事要旨について
3. その他

[議事内容]

1. 前回議事録を確認した。また、提出する議事要旨については委員長に一任された。

2. 提言に向けたスケジュールを確認した

12月20日 議題

12月24日 骨子提出(書き始めてある)

1月 原稿提出(査読者選定も必要)

4月30日 査読終了したものを提出

(前回提言時は、12月上旬に査読用の版が完成していた)

3. 目次案に基づいた発表と議論を行った

(2章) 2017年提言のフォローアップ案(担当:高薮+役員と主筆で記載)

フォローアップ案を高薮が配布。後ほど委員各位からの意見をいただきたい旨伝達。

(3章) 地球衛星観測状況の変化と対策の必要性(執筆者:筆頭がリーダー)

① 科学的状況(担当:岡本創、江淵、重、中島孝、小池、佐藤正樹)

岡本(創)から下記のテーマについて発表があり、議論が行われた。

- ・放射収支と水循環の理解
- ・短寿命温室効果ガス
- ・海洋
- ・衛星観測のモデリング(現業モデルの同化、GOSAT、モデル)

② 社会的要請(担当:岡本幸、樋口、中島英、中村)

岡本(幸)から下記のテーマについて発表があり、議論が行われた。

- ・豪雨・暴風

- ・地球温暖化
- ・オゾン層破壊
- ・DAACs からクラウド利用、セキュリティ、速報性

③ 技術的状況（担当：高橋、福田、JAXA と NICT サポート）

高橋から下記のテーマについて発表があり、議論が行われた。

- ・技術発展と小型化に対し、2017年11月の気象研究ノート
- ・気象研究ノートの目次に基づいて整理
- ・静止衛星の機能の拡張＋小型衛星 Cubesat
- ・光学・SAR、マイクロ波放射計、降水レーダ
- ・静止衛星（WMO 推奨）、GRACE-FO

④ 国際動向（担当 沖理子、松本、横田）

沖から下記のテーマについて発表があり、議論が行われた。

- ・関連する国際プログラムの整理
GEOS、GCOS、IPCC、SDGs、WCRP
- ・水循環グランドプラン
- ・Decadal Survey, ACCP の動向
- ・温室効果ガス観測衛星のその後
- ・静止軌道や小型衛星を含めた観測、メガシティ

⑤ 地球衛星観測をめぐる体制と課題（担当：本多、村山、今村）

本多および岩崎より下記のテーマについて発表があり、議論が行われた。

- ・宇宙政策が掲げる理念が重要
- ・中長期を見通し、産官学それぞれがもつ理念をまとめて実現する計画を立てるのが重要
- ・上記を実現させる仕組みを構築する必要性

4. 今後の進め方について、メール等で意見を集約しながらまとめていく方針が議論された。
「地球観測将来構想小委員会」と題した資料へのコメントが求められた。

5. 今後の日程

原稿の第1案 11月半ばとする。11月18日までに原稿案を展開する。

第3回会合（案） 11月22日（金）午後13:00開催を候補とする